令和７年デジタル庁政策評価・行政事業レビュー公開プロセス 取りまとめコメント

「統括・監理支援システム」

・レビューシートに記載する成果指標として、アクセス件数は間接的な指標であるため、費用対効果をより明確に把握できる指標を設定するべき。

・統括・監理支援システムに格納されている各情報システムの各種の情報は、原則として年に１回の更新にとどまっており、情報の鮮度が低いため、都度更新とした方がよいが、ユーザである府省庁の負担も踏まえ、効果と負担のバランスが考慮されるべき。

・予算要求等レビューにおいてデジタル庁と各府省庁との間で行われるコミュニケーションについて、統括・監理支援システムの中で完結するようシステム設計を行うべきであるが、そのための情報の形式を統一することで、過度な負担が生じないようにするなど、各府省庁の各種コストにも留意するべき。

・ユーザの負担軽減やユーザビリティの向上のためには、AI の活用も含めて多様な手法を検討されるべき。